

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	4151	施策名	笑顔があふれる観光のまち	主担 当課	経済観光活性課
大項目	活気あるまちづくり				
基本 方針	おもてなしの心をモットーとし、体験型の観光メニューを整えることで、多くの人が訪れ、宿泊するまちを目指します。 笠岡に来たことがない人、知らない人、また、笠岡市の情報を得たいと思っている人に対して、笠岡に興味を持ってもらえるような観光情報を提供していきます。 笠岡を訪れる人に対して、ニーズにあった観光メニューを提供し、何度も訪れてもらえるようにします。 道の駅「笠岡ベイファーム」を観光情報発信の拠点として、笠岡湾干拓地で農業体験などを企画し都市と農村の交流を図ります。			関係課	

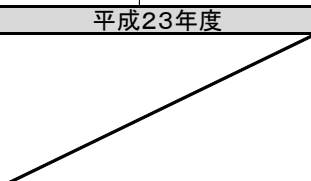
<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	観光イベント開催事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)									
観光客 伝統芸能関係者			各イベントへの観客の増員、地域伝統芸能の継承・発展を通じて市の活性化を図る。			・笠岡湾干拓地内景観作物園場への「四季の花」の植栽事業及び花イベントの実施 ・道の駅笠岡ベイファームへの集客施策の実施。 ・市内で開催される伝統継承活動への助成。(ひったか・おしぐらんご、白石踊、大島の傘踊り) ・笠岡市観光連盟が主催するツアーへの助成。						
平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組内容			⇒			⇒			⇒			
直接 事業費	決算額	520	千円	決算額	597	千円	決算額	520	千円	決算額	520	千円
	うち 一般財源	520	千円	うち 一般財源	597	千円	うち 一般財源	520	千円	うち 一般財源	520	千円

2	観光施設整備事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)									
観光客			・快適な環境での海水浴 ・観光施設の安全性、快適性の確保 ・歩きやすい遊歩道の整備			・白石島、北木島海水浴場の水質検査 ・観光便所等観光施設の清掃管理 ・観光案内看板等観光資材の管理 ・神島遍路道の改修事業						
平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組内容			⇒			⇒			⇒			
直接 事業費	決算額	4,376	千円	決算額	4,688	千円	決算額	10,156	千円	決算額	5,810	千円
	うち 一般財源	3,311	千円	うち 一般財源	3,539	千円	うち 一般財源	10,156	千円	うち 一般財源	5,810	千円

3	観光振興事業											
事務事業の目的					事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
観光客 観光団体		様々な地域資源の魅力を外部に発信し、地域の活性化を図る。			・観光情報を発信する。 ・観光関連団体と連携を図る。 ・修学旅行誘致を推進する。							
		平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容		●積極的な観光PR ・パンフレットの作成 各種パンフレットの改訂版の作成 ・ウェブページの改訂 ・セールス活動 修学旅行誘致活動含む		⇒			⇒			⇒ ・笠岡市観光連盟に補助金を交付し、笠岡市観光連盟のホームページのリニューアルを行った。 ・地域ブランドによる経済活性化を図るため、地域資源の発掘・ブラッシュアップの検討等を行った。		
直接 事業費	決算額	27,965	千円	決算額	3,233	千円	決算額	2,312	千円	決算額	2,472	千円
	うち 一般財源	4,794	千円	うち 一般財源	3,233	千円	うち 一般財源	2,312	千円	うち 一般財源	2,472	千円

4	道の駅整備・運営事業												
事務事業の目的							事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
国道2号笠岡バイパス利用者及び道の駅利用者			道の駅の目的である休憩・道路情報の提供だけでなく、地元、笠岡市の新鮮な野菜・魚介類等の販売、地元食材を使った食事の提供、観光情報など、笠岡の良さを広範囲にPRできる一大情報発信基地とする。				①地域振興施設として道の駅を運営する。 ②道の駅周囲の農地を利用して景観作物を咲かせ、また、農業体験施設等でイベントなどを開催する。 ③道の駅の利用者を二次的に笠岡市内の施設及び飲食店等へ誘客し、経済効果を図る。						
		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容		○道の駅整備 ・景観作物の作付 ・イベントの実施 ・新聞折込チラシの配布 ・施設の整備・管理 ・ツアーの実施			⇒			⇒			⇒ ・道の駅南側の圃場への排水溝の設置 ・道の駅北側の圃場への展望台通路の設置		
直接 事業費	決算額	41,586	千円	決算額	39,347	千円	決算額	35,595	千円	決算額	33,717	千円	
	うち 一般財源	27,849	千円	うち 一般財源	33,961	千円	うち 一般財源	35,595	千円	うち 一般財源	33,717	千円	

5	笠岡ぐるっと博											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
市民・商店街 飲食業関係者		地域の魅力(＝地域資源)を再発見するとともに、市全体がお客様をもてなす環境を作り出し、経済的な部分も含めた地域活性化を図る。				市内を3つのエリアに分けて、飲食店を周りスタンプを集め応募してもらう。 ・めぐる編(スタンプラリー形式にて市内飲食店を周る。) ・エリアは、「中央エリア」「番町エリア」「郊外エリア」とする。						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容				・めぐる編(スタンプラリー形式にて市内飲食店を周る。) ・ぐるめ編(お弁当コンテスト) ・ぐるり編(ミニツアー)			⇒街グル(飲食店やサービス店などの参加店舗を周るミニツアー) 街ラリー(スタンプラリー形式にて市内飲食店を周る。)			⇒ ・ぐるっとガールによる笠岡ぐるっと博加盟店のSNSを用いたレポートをしてもらい積極的な情報発信を図った。		
直接 事業費	決算額	0	千円	決算額	5,311	千円	決算額	2,120	千円	決算額	1,715	千円
	うち 一般財源	0	千円	うち 一般財源	5,311	千円	うち 一般財源	2,120	千円	うち 一般財源	1,715	千円

<3.施策の直接事業費(2の合計)>

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
直接事業費	74,447	千円	53,176	千円	50,703	千円	44,234	千円
うち一般財源	36,474	千円	46,641	千円	50,703	千円	44,234	千円

<4.指標>

指標名				目標・実績の推移					
				H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H29 目標
1 観光客数	単位 万人	目標					91	91	91
		実績		10	71	90	112	122	
		達成率					123.1%	134.1%	
2 「おもてなしの心」研修会の年間開催回数	単位 回	目標					12	12	12
		実績		1	1	1	12	12	
		達成率					100.0%	100.0%	
3 ガイドボランティアの人数	単位 人	目標					9	22	30
		実績		10	9	9	9	10	
		達成率					100.0%	45.5%	

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

委員コメント	対応・回答
・高齢者の活用によるガイドボランティアを増やし、研修を行うことにより高齢者の生きがいの増加につなげるとともに、観光事業につなげることも可能と考えられます。	→ 現在笠岡市においては、9人のガイドボランティアの方々が、会をつくり活動しております。ボランティアの方々をいかに増やし、楽しく学び、観光や史跡のガイド活動をしていただけるかが懸案となっております。今後も、新たな会員を募集し充実した会となるよう支援してまいります。
・観光客数が平成24年と25年では倍になっている。道の駅の効果と言えるが、干拓地等の理由で、新しい施設を建てるができないという。これだけの集客数を誇るのに、道の駅周辺だけに限定されているため、今後笠岡市全体に普及できるように対策を検討していただきたい。さらに花を植えているが、収益が出るようにできないものだろうか。 ・道の駅周囲の花は大変人気があり、観光バスが来ている。道の駅を利用して観光ボランティアを配置して、市内を巡ってもらう等検討されたい。	→ 平成25年度の入場者は約84万5千人、売り上げは、4億8千万円の実績を残すことが出来ました。これは、笠岡市の施策であります「四季の花植栽事業」による集客事業が、道の駅運営事業と相乗効果をもたらしたものと感じております。ご指摘にあります、花畑の有料化につきましては、立地条件から困難であり、また、道の駅への影響があることから慎重に判断すべきと考えます。 また、道の駅をご利用のお客様が笠岡市内で2次、3次的な経済効果を生みだせるべく施策を講じてまいります。例えば、平成24年度から「笠岡ぐるっと博」を実施しており、笠岡市内の飲食店61店舗が参加して、お店を利用されたお客様にスタンプラリーを楽しんでいただき、笠岡市の特産品をプレゼントするイベントを開催しております。更に、「笠岡ラーメン」の宣伝にも努めております。今後も、干拓地の農業体験ツアーなどを検討し、道の駅が観光の「プラットホーム」となり、更なる経済効果を生みだせるべく施策に努めてまいります。 観光ボランティアにつきましては、ボランティア員の育成に取り組み、観光会社からの依頼を受けて笠岡市内のガイドが出来るよう、笠岡市ガイドボランティアの方々と協議してまいります。
・島は観光の宝だと思います。広報につとめていただきたい。	→ 笠岡諸島は、風光明媚な豊かな自然と歴史を有する観光の中心であり、食・癒し・保養といった点で笠岡市にとって大変魅力的な観光資源です。 笠岡諸島の振興に関する施策といたしまして、平成26年度においては、これまで実施していた「離島観光活性化事業＝北木島流し雛ツアー、真鍋島走り神輿ツアー、白石島白石踊体験ツアーなど8ツアー」に加え、「瀬戸内海国立公園指定80周年(国指定名勝70周年)記念ツアー＝笠岡フォトスポットツアー、笠岡諸島パワースポットツアーなど10ツアー」を実施し、笠岡諸島の観光振興に努めてまいります。 また、平成28年度には岡山県がJRグループの主催するディスティーションキャンペーンの対象地として決定し、今後、岡山県の主導のもと県下全域の観光素材を売り出すこととなります。笠岡市においては、ツアーのひとつとして、「笠岡諸島の白石踊ツアー」を提案しており、積極的に笠岡諸島のPRに努めてまいります。

・地域ブランドを発展させるためにも、農業、漁業、林業、工業、商業、その他特色のある各業を融合させた場を以って進めていかなければ市民の総意として、特色を生かすことはできないと思います。部を越えた協同を希望します。	→ ・平成26年3月に産業振興ビジョンを策定し、この産業振興ビジョンの具体的施策を計画的に実施するために4月にかさおか新しいしごとづくりセンターを建設産業部に設置しました。センターの職員は、経済観光活性課と農政水産課の職員とで構成されています。センターでは、企業誘致、中小企業振興、起業支援に加えて、笠岡ブランドの推進や農林水産業の6次産業化や観光振興にも取り組むこととしています。 ・地域ブランドを確立していくためには、地域に住む人々が自らの地域に誇りと愛着を持つことが必要です。現在、地域住民、生産者、商工業者等多くの関係者が参加する「かさおかブランド協議会」におきまして、市民参画、協働のもとに、笠岡青年会議所が事務局となり積極的に事業を進めております。笠岡市もかさおか新しいしごとづくりセンターの職員が参加し共に活動いたしております。
--	--

<6.平成26年度の振返り>(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B
---------------	--	----------

<7.施策の課題と改善案>

課題と改善案	・観光施設の管理委託において、受託者の高齢化と人員不足により、引き続いて管理委託を依頼する事が難しい地域が発生している。 →観光施設管理委託の受託が難しい地域における委託については、これまで委託していた団体と調整の上、近隣の余力のある団体等に委託先の変更を検討したい。
---------------	---

<8.委員による評価結果>

総合評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	B
コメント	・一地域だけの観光では通過型観光にしかならず、周辺諸地域と連携した広域型の滞在型観光を志向することが必要と考えられます。 ・海と笠岡諸島、広大な干拓地は、普通では得られない感動する風光です。積極的にPRをしていただきたい。 ・道の駅の景観作物を咲かせることで、花を見に来られる人はかなり多いが、二次的な市内施設への誘客効果は非常に薄いように思えます。費用対効果を検討していただきたい。			